災害対応は"義理と人情"

ー組織的行動・コミュニティ・友好自治体

相馬市長 立谷秀清

400年の城下町

1323年 奥州相馬家 成立

1611年 中村遷都

1782年 天明の大飢饉

1845年 報徳仕法 発業

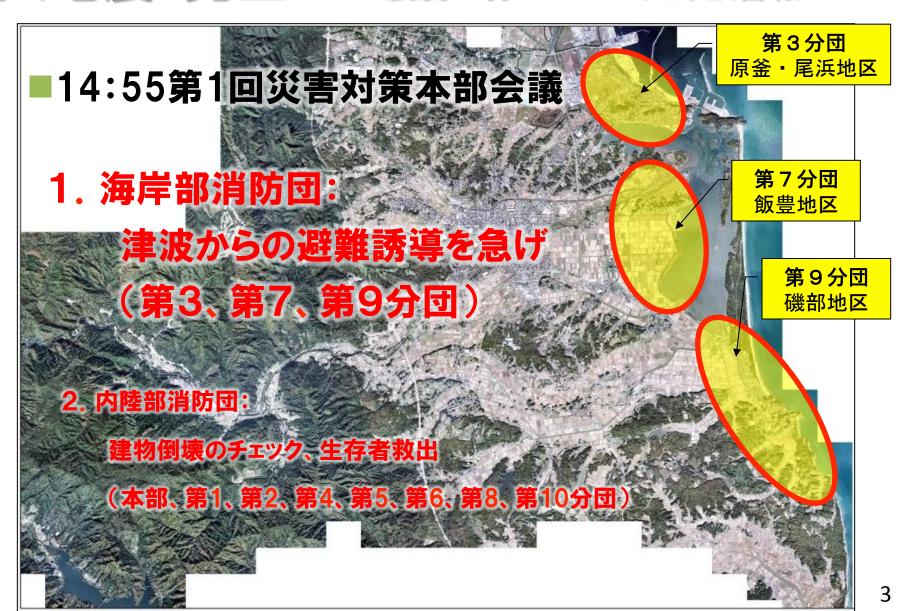


福島県

国指定重要無形民俗文化財 「相馬野馬追」(7月下旬)

相馬市

大地震 発生14:46震度6弱 14:49大津波警報



巨大津波が漁港を襲う



増え続ける避難者

市体育館に避難する相馬市民

避難所を地域単位でまとめる ↓ コミュニティを失わないこと

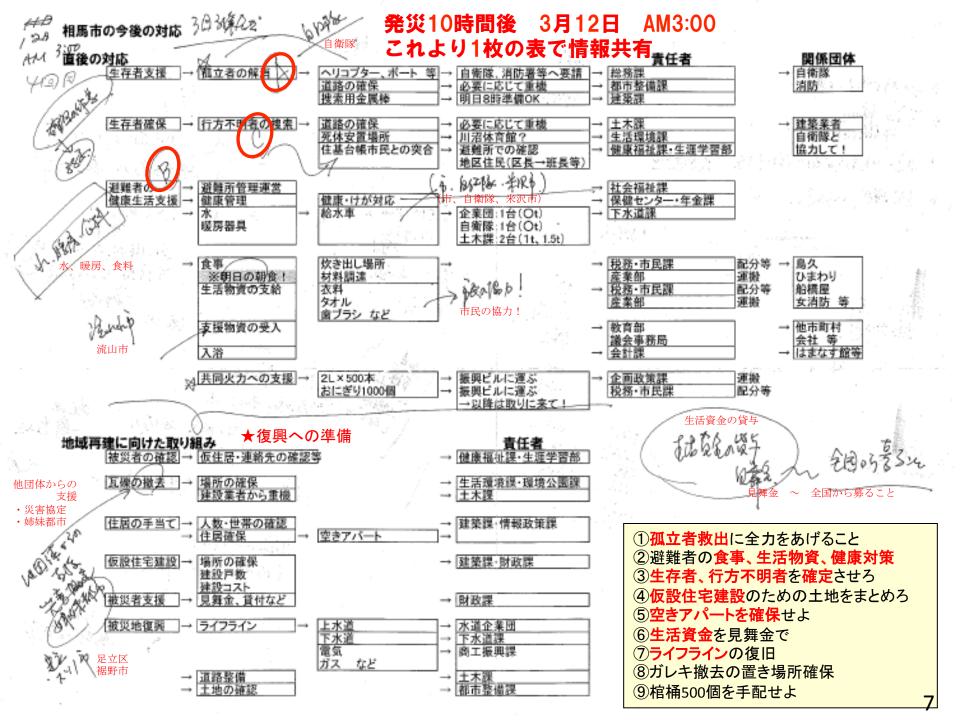


第4回 災害対策本部会議

【市長撮影】

■3/12 午前3:00 行動方針を決定





一夜明けて 自衛隊による救出



一夜明けて 本部長現地視察

【市長撮影】



一夜明けて 本部長現地視察

【市長撮影】



一夜明けて本部長現地視察

【市長撮影】



原発避難者向けの避難所開設

旧相馬女子高校を避難所として開設



市独自の支援金【一人3万円】

本人確認により安否確認、住民基本台帳との突合



原発風評被害で物流ストップ

「相馬市トラック部隊」 運送会社トラック7台借上げ



医療支援

避難所での診察、 健康相談

【本部長】医師派遣の支援要請

- 3/14 日本医師会 副会長 → JMAT
- 3/16 災害医療支援チーム → DMAT
- 3/20 東京医科大 学長
- 3/24 全日本病院協会









医療救護班連絡会議

毎朝夕のミーティング

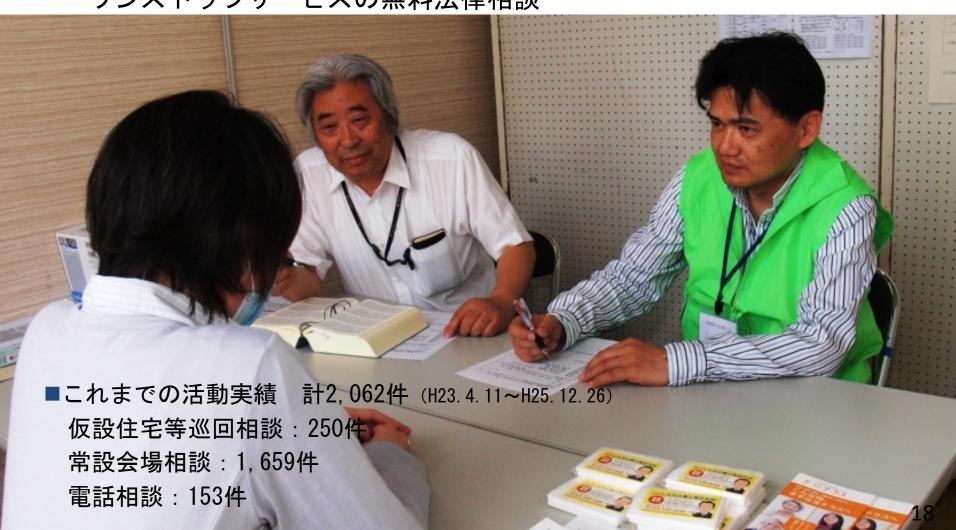


「そうまさいがいエフエム」

76. 6MHz 30W

経済自殺対策

弁護士、司法書士、行政書士、土地家屋調査士、税理士の協力による ワンストップサービスの無料法律相談



避難所での栄養管理

朝食

夕食

学校給食室で調理 → 配給

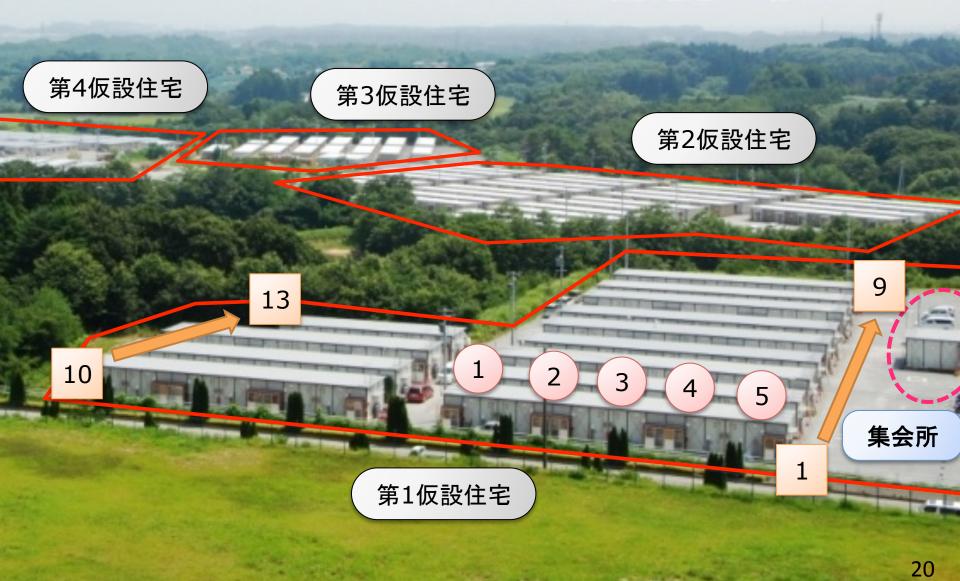
昼食

仕出し弁当を配給

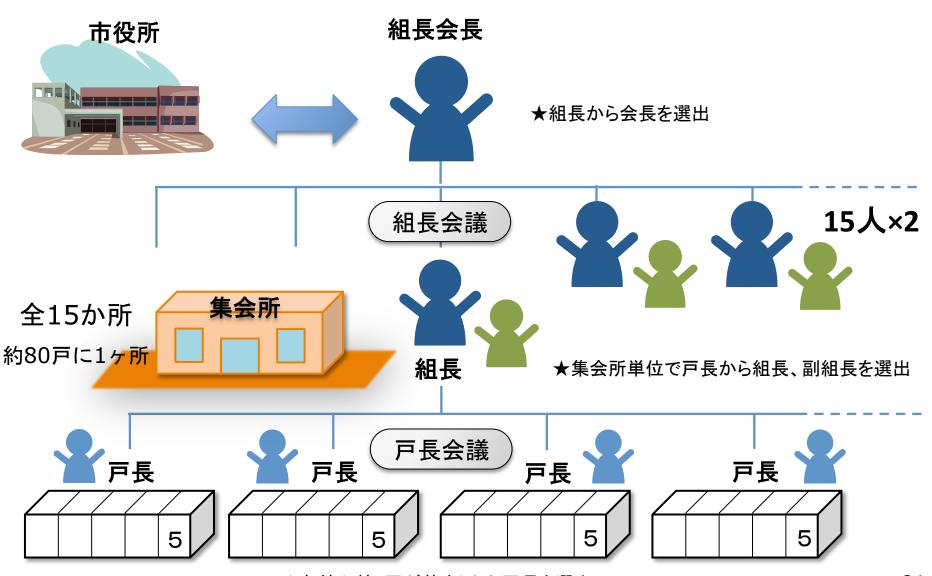


仮設住宅マネジメント

- •地域単位でコミュニティを維持
- •組長を通して行政サービス



仮設住宅マネジメント



仮設住宅「組長会議」「戸長会議」

管理運営・課題解決は、住民と行政が一緒に



孤独者対策「仮設住宅に給食配給」

仮設住宅入居時に、米30kg(1人),調理器具を配給

夕食

学校給食室で調理 → 配給

一般世帯 おかず2品 → 集会所で配給









高齢者世帯 独居世帯

ご飯 + おかず

→ 集会所で会食

仮設住宅での障がい者・買物弱者支援



被災者の健康管理

問診、診察などの健康チェック 健康状態についての相談



ご支援いただいた医療関係者の皆さん

毎年実施 H25:7/13~ 7/19

PTSD対策 相馬フォロアーチーム



震災孤児義援金条例

国内外から温かいご支援

メルマガで全国へ支援呼びかけ 〈2011/04/24号 №.251〉 「震災孤児等支援金支給条例」





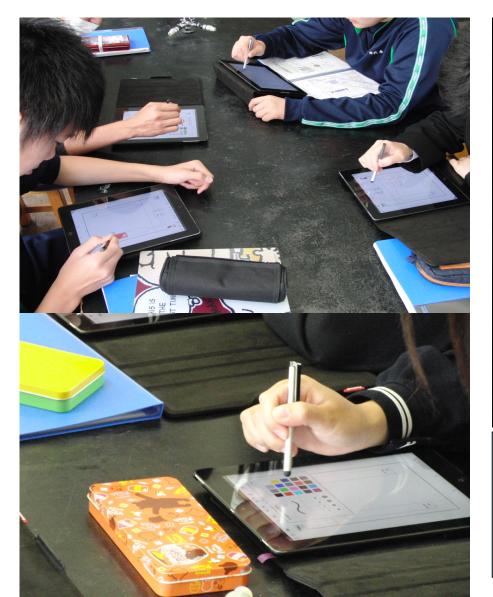
H24.6月改正条例案 大学・専修学校入学者に76,000円/月の奨学資金を支給

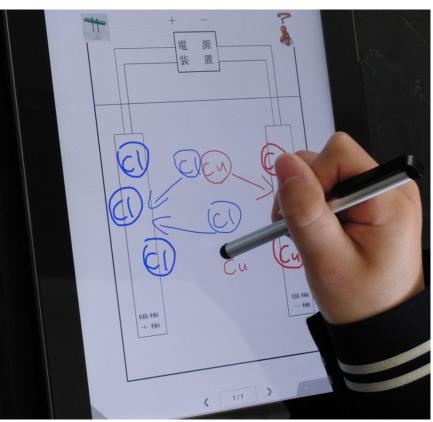
教育復興子育て基金条例を議決

子供たちの教育(学力向上)こそ、最大の地域振興策



被災中学校へ iPad導入





塩酸の電気分解のようすをモデルで表すUPADというアプリを使って・・・

30

学力向上のため市採用講師を配置

相馬市独自の学力向上施策。17名を採用。



「寺子屋事業」

■仮設住宅集会所での学習支援活動

• 東京大学と市教委が連携

期間:月2回程度(週末の土日)

対象:各仮設住宅に入居している小中学生

□ H24.6.16から4集会所でスタート

• 大野台、刈敷田、北飯渕、柚木

H24は16週32日間 小学生のべ536人 中学生のべ 78人 学生ボランティアのべ102人

H25も6月から実施

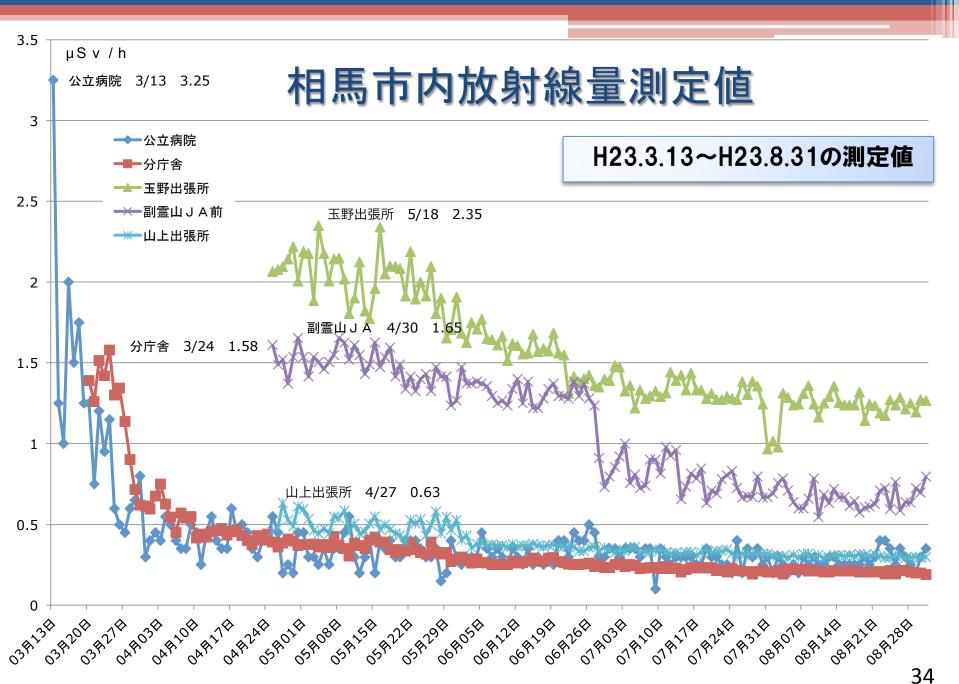




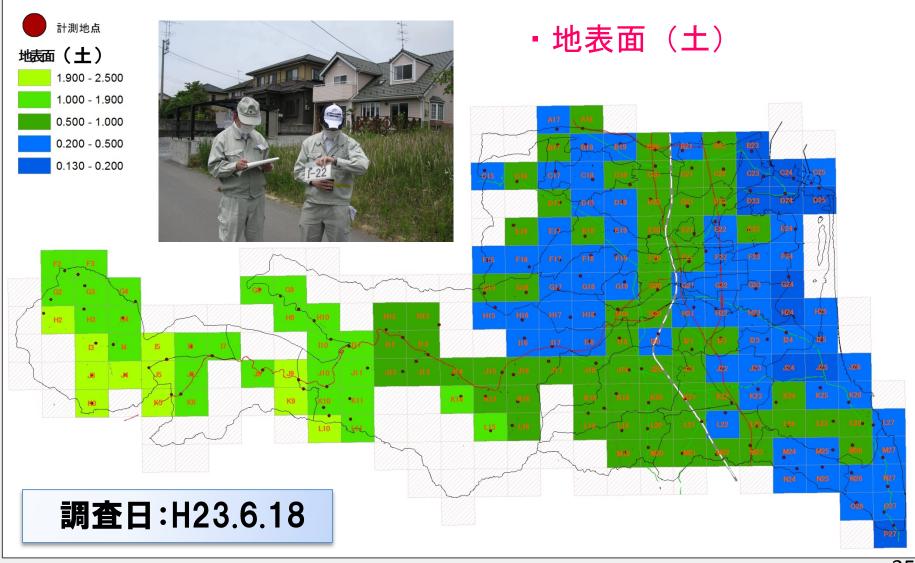
「相馬育英館」事業

- ■学習支援を希望する中学生50名が参加
- ■東京大学の学習支援ボランティアの協力

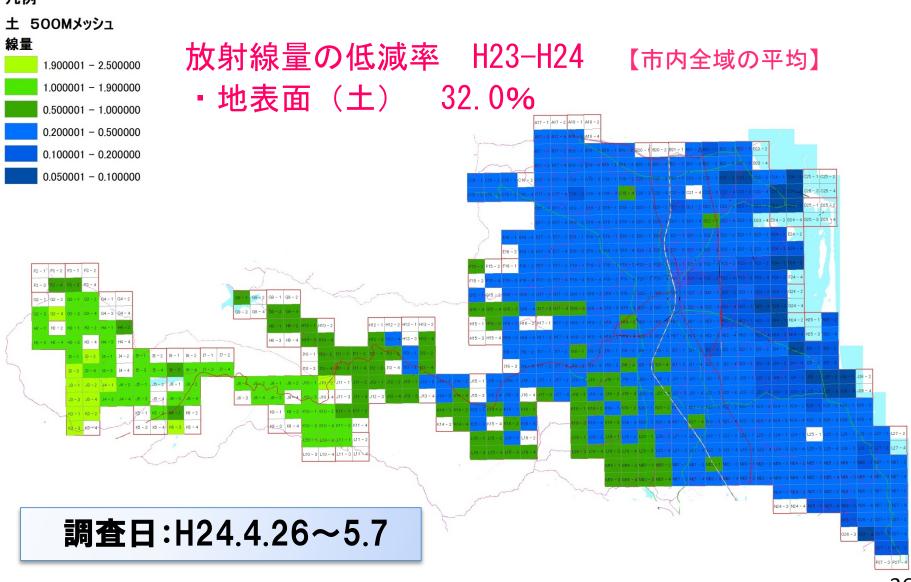




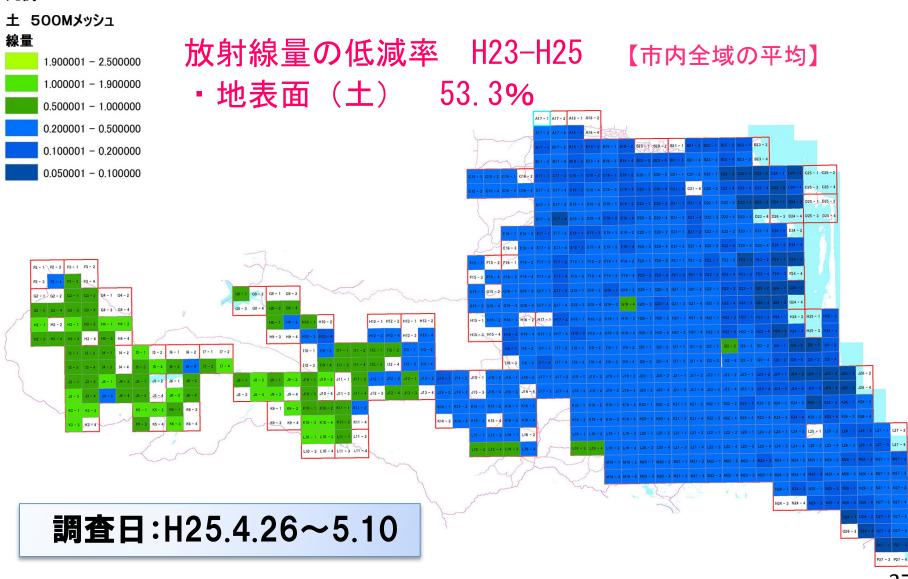
市内全域 1kmメッシュ調査



市内全域 500mメッシュ調査



市内全域 500mメッシュ調査



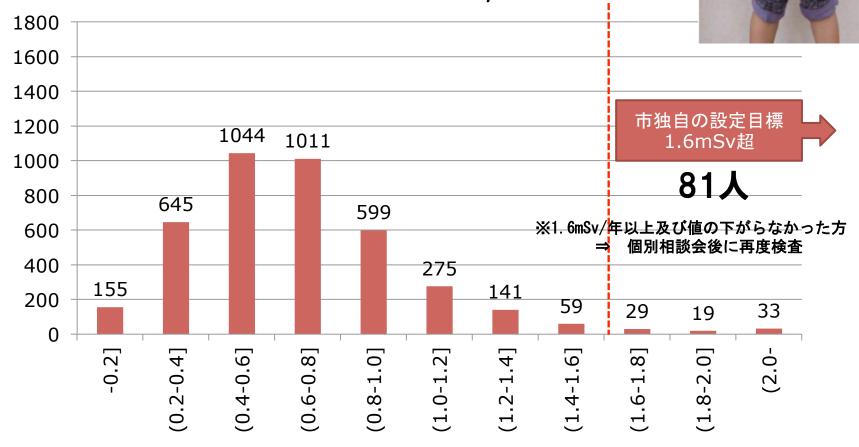
外部被ばく測定

乳幼児から中学生、妊婦 を対象として実施

全体の線量分布

(人数)

■ H23.10月~12月 n=4,010



測定結果に基づき対策

比較的線量の高い結果の子どもに対し、個別に 徹底対応

① 医師による個別説明会



③当該世帯の除染実施へ



② 個別に放射線測定



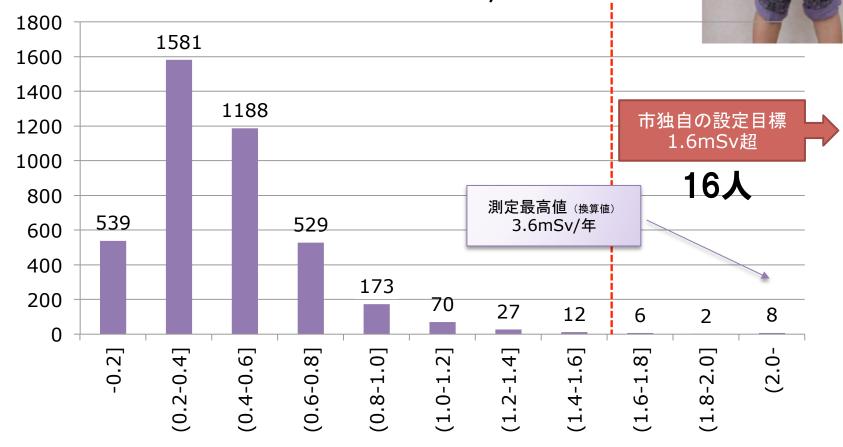
外部被ばく測定

乳幼児から中学生、妊婦 を対象として実施

全体の線量分布

(人数)

■ H24.7月~9月 n=4,135



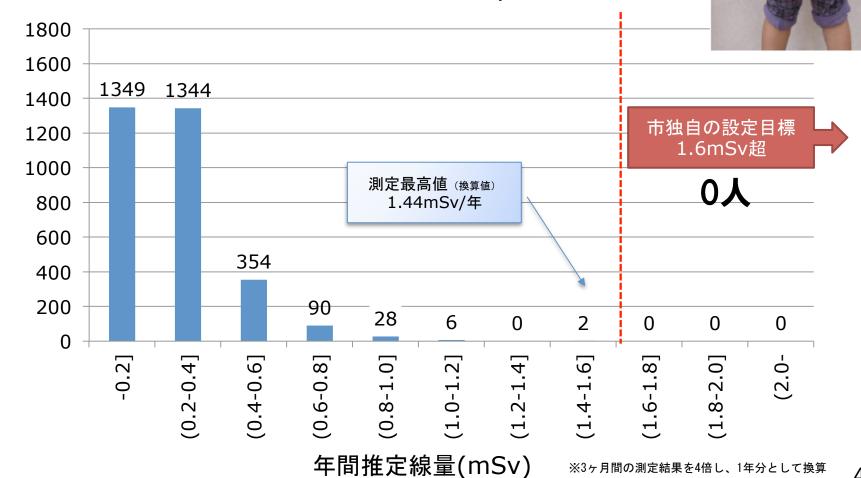
外部被ばく測定

乳幼児から中学生、妊婦 を対象として実施

全体の線量分布

(人数)

■H25.5月~7月 n=3,173



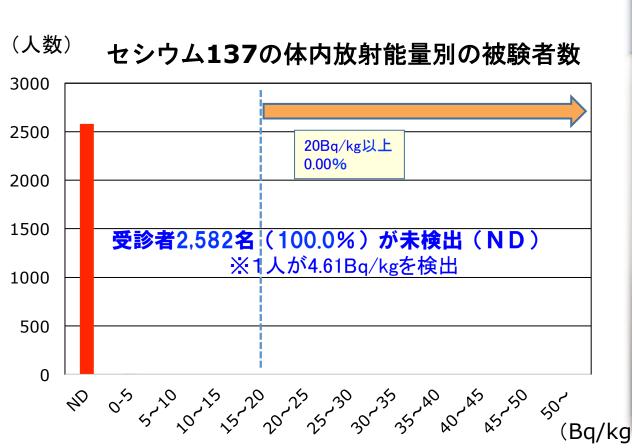
内部被ばく測定 (第4回)

相馬市の住民6,981名を対象に集計 (2013.4.1~2014.1.31)

■うち子ども(中学生以下) 2,583名

H26.3.28 公表 セシウム137対内放射能量別結果

> 【検出限界】 セシウム134 220Bq/body セシウム137 250bq/body





玉野地区の除染事業

- 1事前モニタリング 〈除染箇所特定〉
- **3建物**〈屋根·雨樋·外壁〉

- ②準備工〈周知·立入制限·散水〉
- ⑤事後モニタリング 〈除染効果を検証〉
 - 4宅地1〈剪定・枝払い〉







通学路等の除染



4宅地3〈客土戻し〉



4宅地2(表土剥ぎ)



除染土砂の仮置き場

光陽地区産廃埋立処分場(石炭灰捨て場)に設置

(H25.9.24 現在)





除染枝葉等の処理

国代行仮設焼却炉で焼却 H26.1月~3月

- 除染枝葉と震災がれきを混ぜて焼却
- H24.10月に12日間行った試験焼却では、排ガス中の放射性物質濃度は不検出



農地の復旧、農業復興の様子





復興組合による小ガレキ片付け

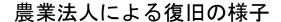




農地復旧復興プロジェクト

- ■①H24.6.1、②H25.2.19
 - □ 農業法人に対し大型農業機械を無償貸与
 - ・ ①ヤマト福祉財団の助成(3億円)
 - ・ ②復興交付金事業
 - 農地の本格復旧、地域農業の振興、農家の自立を目指す







大型いちごハウス

H25.3月完成

- ■和田地区いちご水耕栽培施設工事 1億9,898万円
 - 鉄骨ハウス【6連棟】2,160㎡(654坪)×2
 - □ 【4連棟】1,440㎡(436坪)×1
 - ■放射能の風評被害を回避、省力化を図る水耕栽培
- ■「合同会社 和田いちごファーム」 H24.5.11設立
 - ■農業法人へ施設を無償貸与



放射能検査で安全確認

- ■福島県内で生産した玄米の、全量・全袋検査
 - ●一般食品の基準値(100ベクレル/Kg)以下であることを確認し出荷







食品の放射性物質測定

自家栽培、自家消費の食品検査 → 測定結果を市HPで公表



H24.1.13~ 学校給食の放射能物質検査



保育園、地区公民館にも測定機器導入

放射能検査で安全確認

国が定める基準値の半分である50Bq/kg以下の魚介類だけを出荷



H25.9.24~ 2魚種追加、全18魚種で試験操業 ・キアンコウ・シラス



孤独死対策の災害公営住宅



寮長の

災害公営住宅(長屋)入居イメージ

市として長屋入居者のフォローを

寮長のしごと

- ◆共益費等の集金
- ◆行政や介護事業者との連絡調整
- ◆支援物資の受け入れ・配布
- ◆事務室兼ボランティアルームのカギの管理
- ◆当番制の割り振り
- ◆入居者に事故が発生した場合の連絡等
- ◆季節ごとの行事の開催
- ◆入居者の安否確認(黄色い旗作戦)

みんなで 分 担

- ◆共用スペースの清掃
- ◆昼食の配膳・片付け など

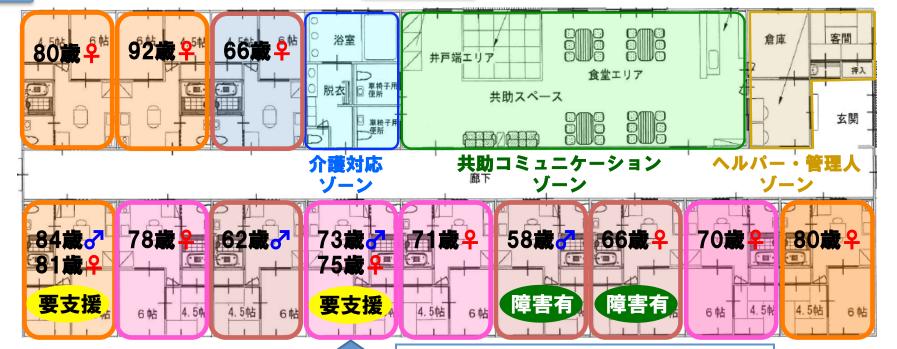


市の高齢者配食サービスを受託しているNPO 法人ライフネットそうま の弁当を利用

(100円/食)

外部支援

- ◆給食体制
- ◆健康管理体制
- ◆ヘルパーは寮長との連携を



寮長

◆行政支援員として市が雇用

2.5時間/日×@900×30日=67,500円/月



共有スペースで一緒に昼食

新たなコミュニティでお互いを見守りあう



井戸端長屋 5棟すべて完成



災害公営住宅 (戸建て)

【明神前地区】



平屋建てタイプ 24戸

58

災害公営住宅(戸建て)

【明神前地区】





戸建て 65戸

長屋1棟 12戸

H26年3月末完成予定 残り47戸

買物弱者対策

「チャルメラカー」

災害公営住宅や玉野地区へ出向きます。





- 生活用品や生鮮食品など品揃えは約320品目
- 事業を受託するフレスコキクチが運行

お出かけミニバス災害公営住宅ルート



- ・災害公営住宅入 居者の新しい足
- ・交通弱者の高齢 者が、買い物など で中心市街地へ出 掛ける際の乗り物

東京農業大学校友会ブラジル支部から 寄贈されたワゴン車を活用

新たな住宅地【刈敷田地区】

- ·造成面積:約7.2ha
- ·宅地 42区画、店舗併用 1区画
- ・災害公営住宅戸建て 70戸アパート 4棟36戸

宅地造成 H25年度 完成

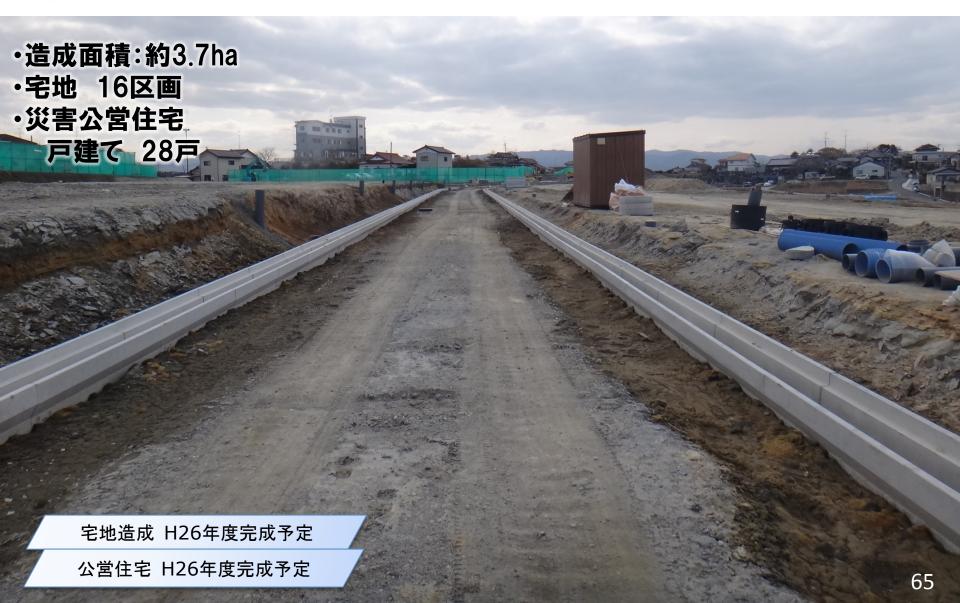
公営住宅 H26年度完成予定



新たな住宅地【荒田地区】



新たな住宅地【南ノ入地区】



新たな住宅地【鷲山地区】





磯部コミュニティセンター



- 磯部地区の新たな「交流拠点」「防災拠点」
 - ・ 安全な高台に被災者用の公営住宅や住宅地と一体的に整備
 - ・ 行政出張所、図書館、非常時用品備蓄倉庫の機能を併設
- シンガポール赤十字社から全額寄付
 - 建設予算 1億2,000万円



防災備蓄倉庫

■ 震災での経験を踏まえた十分な収容能力と 支援物資のスムーズな搬入搬出機能



防災集合所

- 平常時:地域コミュニティの場
- 非常時:地域の避難所、防災拠点
 - 自家発電装置、炊き出し、防災用品備蓄、



【松川地区ほか8地区】

漁具倉庫付き個別作業所



漁具倉庫付き個別作業所



荷捌き・共同集配・海水浄化施設



H26.4.1 プレオープン

モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン グループ

LVMH 子どもアート・メゾン

子どもたちのPTSD対策、情操教育のため、施設建設に、1億3,000万円寄附





H26.4月 プレオープン

光陽サッカー場



光陽サッカー場

クラブハウス (相馬市復興交流支援センター)

チーム控室・会議室・シャワー室・トイレ等



76

楽天「こどもドーム」

「屋内スポーツ施設建設募金団体」が 寄付を募り建設・寄贈

面積:約30m×約40m ※砂入り人工芝 グランド面から天井までの高さ最大15m

(野球練習の他、テニス、フットサルなどジャンルを問わず利用可能となる予定)



新•市民会館

歴史と景観に調和した和風建築





歴史資料収蔵館

- •貴重な歴史資料を保存・継承
- 観光拠点、中心市街地活性化の拠点



郷土蔵

震災で貴重な民俗資料を喪失しないために 先人が築いた地域資産と民俗文化を伝承

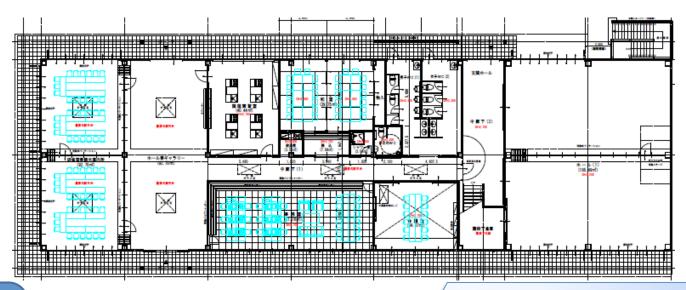


H26.3月着工予定

千客万来館

■相馬観光復興御案内処(H25.10.1スタート)





H26.10月完成(予定)

市役所 新庁舎

市民アンケートを踏まえた新庁舎建設検討委員会での議論を踏まえ、歴史ある城下町の周辺環境と調和する「和(わ)」のデザイン





損壊により防災拠点としての使用が困難

雨水排水対策事業

地盤沈下による浸水被害を解消するため、 雨水幹線(下水道)とポンプ場を整備

【松川ポンプ場】鉄筋コンクリート造地上4階建て。延べ床面積約1,158㎡ 【雨水幹線(尾浜地区)】県道、市道区域の延長801mに幅1.5m、深さ1.5m のコンクリート製箱型管きょを敷設。管理用マンホールは合計12カ所。

イメージ図

尾浜地区雨水幹線 松川ポンプ場 H26.7月完成予定 H27.3月完成予定

【尾浜地区】

尾浜地<mark>区の冠水の様子(H24.11.14)</mark>





鎮魂震災慰霊碑【磯部地区】



鎮魂震災慰霊碑【原釜地区】



天皇皇后両陛下 相馬市お見舞い









国連 潘基文 事務総長 視察



ブータン国王 ご訪問





